

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成19年4月12日(2007.4.12)

【公表番号】特表2003-519086(P2003-519086A)

【公表日】平成15年6月17日(2003.6.17)

【出願番号】特願2000-602185(P2000-602185)

【国際特許分類】

C 0 7 C 67/26 (2006.01)

C 0 7 C 69/24 (2006.01)

C 1 1 D 1/74 (2006.01)

C 0 7 B 61/00 (2006.01)

【F I】

C 0 7 C 67/26

C 0 7 C 69/24

C 1 1 D 1/74

C 0 7 B 61/00 3 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成19年2月21日(2007.2.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 活性水素原子含有化合物またはカルボン酸エステルとアルキレンオキシドとを、触媒としての任意に置換されていても良いハイドロタルサイトおよび任意に助触媒の存在下で反応させることによるアルコキシ化非イオン界面活性剤の製造方法であって、ハイドロタルサイトおよび任意の助触媒を基準に少なくとも等モル量の酸をアルコキシ化後に添加することを特徴とする方法。

【請求項2】 鉱酸を添加することを特徴とする請求項1に記載の方法。

【請求項3】 1～4個の炭素原子を有する有機酸を添加することを特徴とする請求項1に記載の方法。

【請求項4】 酸を、ハイドロタルサイトおよび存在する助触媒に対して1：1～10：1、好ましくは1：1～4：1のモル比で添加することを特徴とする請求項1～3のいずれかに記載の方法。

【請求項5】 酸を、アルコキシ化非イオン界面活性剤の融点を超える温度、好ましくは70～95の間で添加することを特徴とする請求項1～4のいずれかに記載の方法。

【請求項6】 酸を、水溶液の形態、好ましくは10～90質量%の溶液の形態で添加することを特徴とする請求項1～5のいずれかに記載の方法。

【請求項7】 6～22個の炭素原子を有するアルコールまたはカルボン酸を、活性水素原子含有化合物として使用することを特徴とする請求項1～6のいずれかに記載の方法。

【請求項8】 6～22個の炭素原子を有するカルボン酸のメチルエステルを、カルボン酸エステルとして使用することを特徴とする請求項1～6のいずれかに記載の方法。

【請求項9】 アルカリ金属および/またはアルカリ土類金属の水酸化物、酸化物および/またはアルコキシド、アルカリ金属塩および/またはアルカリ土類金属塩、スズ塩並びに混合金属酸化物からなる群から選ばれる助触媒を使用することを特徴とする請求項

1 ~ 8 のいずれかに記載の方法。

【請求項 10】 アルコキシ化非イオン界面活性剤の反応混合物中に触媒として存在する任意に置換されていても良いハイドロタルサイトおよび助触媒を分解するための酸の使用。